

新型コロナウイルス感染症への対応状況について

令和2年4月30日
健康対策課

1 広島県の発生状況

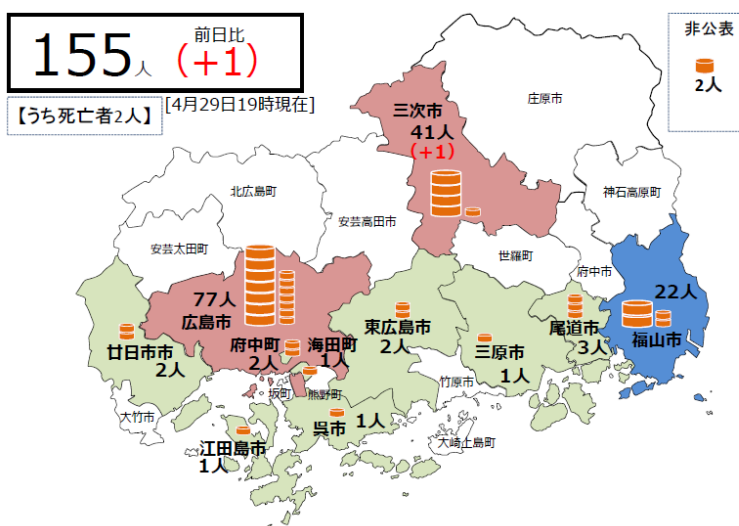
本県における4月29日19時現在の感染者数は155人で、中国・四国地方で最も多い。

広島市、三次市において患者クラスターが発生したが、積極的疫学調査により全体像が把握できており、不特定の層に広がる状況ではないことから、新規の感染者数については、落ち着いてきている。

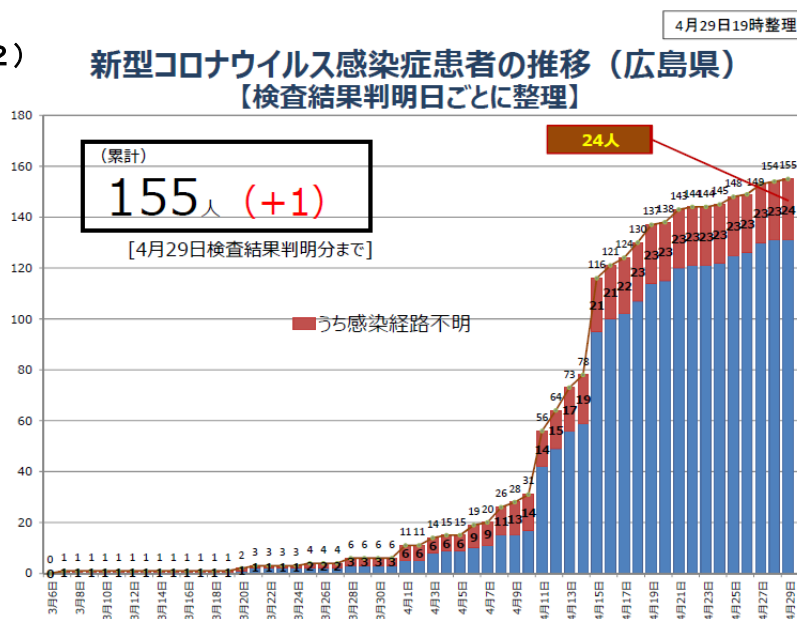
一方で、感染者が確認されている市町も10を超え、感染経路が不明なケースも散発しているため、引き続き、警戒レベルを高く保つ必要がある。

2 患者数、検査の状況

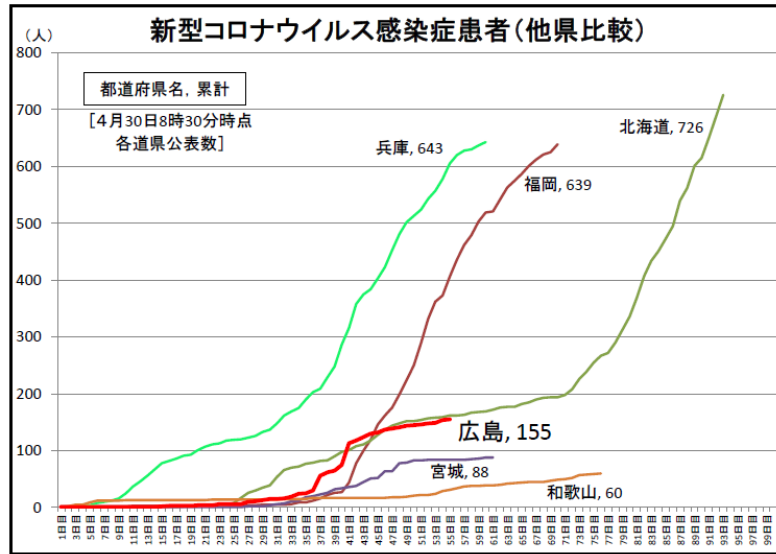
(図1) 新型コロナウイルス感染症患者の状況 (広島県)



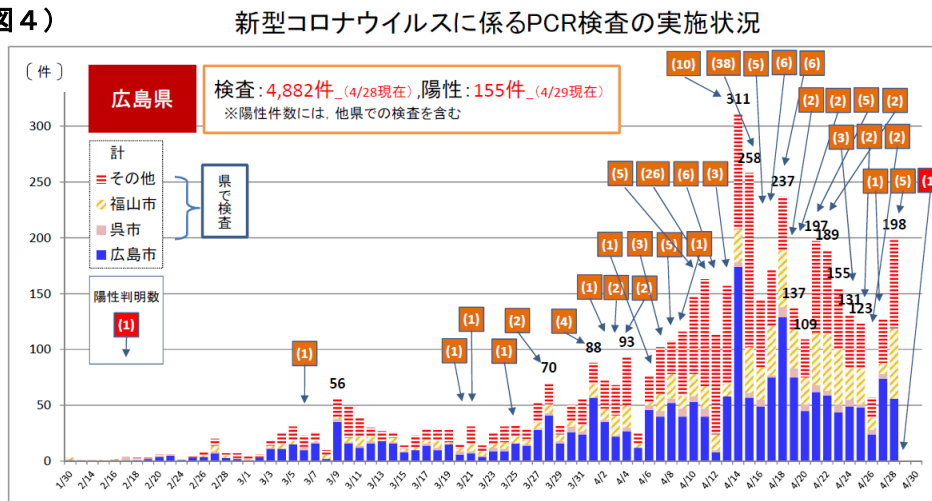
(図2) 新型コロナウイルス感染症患者の推移 (広島県)
【検査結果判明日ごとに整理】



(図3)



(図4)



3 医療体制

新型コロナウイルス感染症患者の増大に対応するため、「広島県新型コロナウイルス感染症患者受入れ調整本部」を設置し、公立・公的病院を中心にさらなる受入れを各病院にお願いするとともに、県内医療機関での患者の受入れ、軽症者の宿泊療養等についての調整を行っている。

- 入院可能な病床数 175床 (現時点) → 約270床 (整備目標)
- 軽症者の宿泊療養施設 130室 (21日から療養開始) → 500室 (整備目標)

4 今後の対応

- 国の方針に従い、重症者等に対する医療提供体制に重点を移す観点から、重症者等が入院可能な病床と軽症者等が療養できる宿泊施設をさらに確保する。
- 新型コロナウイルス感染症患者の増加に備え、PCR検査体制の拡充を図る。